

(別紙1)

参 考 例

令和5年度地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業の助成対象となる事業の参考例を以下に示します。なお、以下に示すものはあくまでも参考例でしかありません。これらをそのまま、あるいは手直しして申請しても必ずしも採択されるものではありませんので、幅広く捉えてください。

イ 地域経済循環分析事業

- 基礎的生活圏（旧市町村ベース等）において、地元大学や専門機関と連携して、家計・企業を対象にアンケートやヒアリングを行うことにより、食料やエネルギー等の調達の実態把握や販売拡大（増産）可能な商品等についての調査を行う。その結果をもとに、地域内調達を増加させることによる経済効果を検証し、効果的な仕組みづくり（案）を作成する。
- 市町村ベースにおいて、経済循環構造の分析に当たって RESAS 等では把握できない部分について、専門機関へ情報収集・分析を依頼し、より詳細なデータを作成。その結果をもとに、地域外に商品を売るためにどうしたらよいか、また地域内調達を増加させるためにできることはないか等の課題について、商工会議所等を交えて意見交換を行い、企業間連携のあり方を検討、そのために必要な支援策（案）を作成する。
- 住民の生活範囲が複数の基礎自治体をまたがっている広域経済圏において、各産業の強み・弱みを把握するための産業連関表等の必要データや、地域において望ましい経済構造は何か、物流拠点をどこにおけば効果的かなどのシミュレーションの作成を専門機関に委託する。それを基に、商工会議所等を交えて、競争力強化のための効果的な手法を検討し、自治体連携によるプロジェクト（案）を作成する。

なお、地域経済循環分析については以下のとおりです。

・地域経済循環分析とは

従来のような生産・販売分野の限定的な分析だけではなく、地域経済の生産・分配・支出の三側面を観察し、所得の発生や流入の構造を俯瞰することにより分析を行うこと。地域社会の基盤である地域経済の基本的構造を理解し、現状・課題を正確に認識することにより、的確な政策や施策の立案・実行に資することができる。

【図 地域経済循環分析のイメージ】

